

日 時：平成 30 年 7 月 5 日（木）18 時 30 分 ～20 時 00 分

場 所：李平地区集落改善センター

対象地区：李平

参加人数：15 名

■要望、質疑応答

内 容
<p>○尾上庁舎の機能について</p> <p>（市民から）</p> <p>新庁舎が建設された場合、現在の尾上庁舎には何が残るのか。</p> <p>（市から）</p> <ul style="list-style-type: none">・市民生活課が残る。建設部、経済部、教育委員会は本庁舎にまとめることになる。
<p>○道路の補修について</p> <p>（市民から）</p> <p>金田小学校側から松月園に向かう道路のマンホール付近の舗装が割れており、歩行者がつまづいてしまう状況である。また、集会所付近の道路の舗装が剥がれて砂利が露出している。以前に要望を提出しているが、現在の状況を教えてほしい。</p> <p>（市から）</p> <ul style="list-style-type: none">・現場を確認し、危険と判断した場合には速やかに補修したい。
<p>○空き家について</p> <p>（市民から）</p> <p>李平地区にある空き家の屋根が壊れている。通学路に面していることから、冬季は落雪があり危険である。</p> <p>（市から）</p> <ul style="list-style-type: none">・現場を確認のうえ、危険が確認されれば所有者に連絡し、指導する。基本的には本人に対応してもらうことになる。
<p>○鳥害について</p> <p>（市民から）</p> <p>カラスやキジが毎年増えているように感じているが、駆除するなどの対応はできないのか。畑の作物の芽を食べたり、田の苗を倒してしまうので困っている。</p> <p>（市から）</p>

- ・有害鳥獣については、猟友会メンバーにより実施隊を構成しているが、熊などへの対応が主であり、捕獲しきれないカラスやキジは追い払うしかないことから、対応は難しい。農作物への被害が顕著ということであれば、現場を確認したうえで、被害を少なくする対応を考えていきたい。
- ・猟友会のメンバーが減少していることから、今年度からは免許更新の費用を補助するなど、実施隊への加入促進の支援を始めている。

○婚活の支援について

(市民から)

ハグメグ支援員として活動しているが、独身男女の結婚に対する意欲が不足しているように感じている。地域として何かできることがないかと考えているが、市としてはどのような方針で考えているか。

(市から)

- ・カップリングパーティーや電車で合コンなどを実施しているが、上手くいっていない。今年からは広域で登録してもらい、出会いの場を設けていこうと考えている。今のところ大きな成果は出ていないが、継続してやっていくことが必要と考えている。

○ねふた祭りの運行経路について

(市民から)

新庁舎が完成すると、庁舎前の広場をねふたが運行できるようになるのか。

(市から)

- ・広場を運行経路に組み入れる話が出ているが、庁舎が完成してから、ねふたの実行委員会の中で話し合っ決めてほしいと考えている。

○道路の補修又は拡幅への対応について

(市民から)

この集会所の向かいに津軽バイオチップが土地を借りて、木材置き場になっていることもあり、大型車両の通行量が増えている。今後もこのような状況が続くと思うが、道路の整備や拡幅などはどのように考えているか。

(市から)

- ・轍ができて、舗装に亀裂が入っているなどが確認されれば補修が必要となるが、現在そこまでの状況にはないと考えている。また、現場の状況から拡幅するのは難しい。

○道路整備について

(市民から)

町会の墓地に向かう道路だが、拡幅は難しいと思うので側溝を入れてほしい。

(市から)

- ・まずは現場の状況を確認して町会長に連絡する。

○公衆用道路の寄附について

(市民から)

自分の名義で登記されている公衆用道路があるが、今後維持管理を続けていくのは難しいと考えている。これを市に寄附することは可能か。

(市から)

- ・市道として認定するためには、幅員が4 m以上で側溝が整備されていることなどの条件があるため、現地を確認する。

○水路の柵について

(市民から)

自分の家の裏手に川があるのだが、ガードレールの切れ目から子ども達が下りてきて、川のまわりで遊んでいて危険である。柵を設置するなどの安全対策をしてほしい。

(市から)

- ・おそらく用水路の敷地になると思われるが、現場を確認して町会長に連絡する。

○道路の改修について

(市民から)

森山商店から介護老人保健施設のぞみに向かう道路の十文字付近に3カ所の大きな段差があり危険である。改修してほしい。

(市から)

- ・現場を確認して町会長に連絡する。

○広報ひらかわの文字の大きさについて

(市民から)

広報ひらかわの文字の細かい部分については、見づらいのでもう少し文字のサイズを大きくするなどしてほしい。

(市から)

- ・紙面のスペースが限られていることなども考えながら編集しているが、できるだけ読みやすく、年配の方にも見ていただけるように、これから検討していく。

○市役所のコピー代について

(市民から)

申告に行った際に、市役所でコピーをお願いしたところ、1枚20円だった。一般的には1枚10円ほどだと思うが、安くしてもらえないものか。

(市から)

- ・市役所の業務が民間の事業を圧迫することのないよう、敢えて料金を高く設定している。

○おのえねふた祭りについて

(市民から)

おのえねふた祭りは、商工会が今後の運営が難しいということで、今年が最後の運行となるが、今年の運行終了後に、おのえねふた会という団体の中で今後の運営について話し合うことになっている。会の総意として、ねふた祭りを続けたいとなった場合に、どのような進め方ができるか。

(市から)

- ・進め方としては、実行委員会の組織化ということが考えられ、市の職員の支援も必要になると思われる。補助金についても、地域にとって必要なイベントであり、おのえねふた会の総意として来年も存続したいということであれば、市の担当課で予算を組むことも検討する。

○保健師の対応について

(市民から)

4月に開催された保健協力員の総会后、意見交換の時間を設けたが、同席した市の保健師の態度と対応の悪さに、協力員のひとりが気分を害してしまい、言い争いになった。もう少し態度については気を付けてほしい。

(市から)

- ・早急に事実を確認したうえで、今後はそのようなことの無いようにしていきたいと思う。これからも市民のみなさんのための市役所を目指していく。